

経営協議会学外委員からの指摘事項への対応について(平成30年度対応済み分)

広島大学

	事項【意見抜粋】	本学の対応	対応室	指摘回	対応状況
1	平成29年度末及び平成30年度末に時限が到来する学内共同教育研究施設の取扱いについて 【ナノデバイスは非常に重要な分野であり、センターの自立化も考えながら、この分野をレベルアップしていただきたい。】	東広島にマイクロンメモリジャパン株式会社(現、マイクロンメモリジャパン合同会社)があり、アメリカ本社との共同研究の話し合いにより、平成30年6月27日にマイクロン・テクノロジー財団と研究・教育の助成に関する協定を締結した。 本協定によりマイクロン・テクノロジー財団から、研究開発や人材育成などに対する支援を受け、本学の教育・研究の国際化や高度化のさらなる推進を目指す。	学術室	第64回 (30.1.25)	対応済 (30.11.08 報告)
2	広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金について 【広島大学が持っている技術を企業と一緒に研究できる組織をつくり、企業の支援で大学の施設を利用して研究をするシステムづくりも大事だと思う。】	平成30年4月1日に民間企業等外部機関と共に広島大学内に共同研究組織を設置し「組織」対「組織」連携による高度な相互理解と信頼を前提とした、新たな価値共創型の共同研究及び人材育成の推進を図ることにより、社会貢献を推進することを目的とする「民間事業等外部機関の研究所制度」を創設し、同日付で研究所第一号となる「コベルコ建機夢源力共創研究所」を開所した。 開所後、毎月の運営委員会において研究所事業の運営に関して協議を行い、10月12日に半期に一回の共創研究所協議会を開催し、研究所の活動方針について協議を行った。同10月12日に、研究成果について中間報告会を開催し、研究進捗について情報共有を行い、下期のさらなる研究の進展を図っている。	社会産学連携室	第64回 (30.1.25) 意見交換会	対応済 (30.11.08 報告)